

第5回環境影響評価審査会
事務局資料
令和2年1月16日

(仮称)相模鉄道本線(鶴ヶ峰駅付近)連続立体交差事業
環境影響評価方法書に関する指摘事項等一覧

※表中の**ゴシック体**の部分は、前回(第4回)審査会における追加の指摘事項等を示しています。

■事業計画について

項目	No	指摘、質問事項等	事業者の説明等	取扱い
事業計画	1	構造形式について地下式を選定した理由を教えてください。 [10/29 審査会]	事業による踏切除却数や想定事業期間、環境面等を総合的に判断して地下式を選定しました。 [10/29 審査会]	説明済 [10/29 審査会]
	2	踏切除却数の欄のかつこ書きの箇所数は、開かずの踏切の数ですか。 [10/29 審査会]	かつこ書きの箇所数は、開かずの踏切の数です。 [10/29 審査会]	説明済 [10/29 審査会]
	3	高架式と地下式で踏切除却数が異なるのはなぜですか。 [10/29 審査会]	高架式の場合は保土ヶ谷バイパスの手前で高架を降ろすことになり2箇所の踏切が除却できないため、高架式と地下式で踏切除却数が異なります。 [10/29 審査会]	説明済 [10/29 審査会]
	4	鉄道を地下化した後の土地利用はどのように考えていますか。 [10/29 審査会]	鉄道敷きは相模鉄道が所有しております。横浜市としては地域への公共貢献できるような土地利用を同社にお願いしています。今後の施工については、相模鉄道との協議や協定等の段階で地下化後の鉄道用地の上部利用のビジョンを示せればと思っております。現段階で決定しているのは鉄道を地下化することだけです。	説明済 [10/29 審査会]
	5	鉄道を地下化した後の土地利用では、人々の憩いの場や空間が確保されるようなパブリックスペースの考え方を取り込んでください。 [10/29 審査会]	なお、パブリックスペースの考え方については、まちづくりの担当部署に伝えていきます。 [10/29 審査会]	
	6	評価書段階で地下化後の鉄道用地の上部利用やまちづくりのビジョンを示してはどうでしょうか。 [10/29 審査会]	周辺のまちづくりについては進行中であり、どの段階でビジョンを示すか検討します。 [10/29 審査会]	説明済 [10/29 審査会]
	7	方法書対象地域はどのような考えで設定されているのでしょうか。 [10/29 審査会]	騒音、振動、地下水の影響等を考慮し、環境影響を受ける恐れがある範囲として対象事業実施区域から約500m圏にかかる町丁の全域及び一部地域としました。 [10/29 審査会]	説明済 [10/29 審査会]

■事業計画について

項目	No	指摘、質問事項等	事業者の説明等	取扱い
事業計画	8	「地下構造物直上の地表を含む鉄道施設」は何を指すのか教えてください。 [10/29 審査会]	駅部を想定しています。 [10/29 審査会]	説明済 [10/29 審査会]
	9	賛成意見だけでなく反対意見も汲み取ってください。 [10/29 審査会]	事業説明会で配付した資料にメールアドレスを記載しており、個人から意見をいただける環境を整えています。 [10/29 審査会]	説明済 [10/29 審査会]
	10	鶴ヶ峰駅が発進立坑になり両側にシールドが発進するのですか。 [10/29 審査会]	現段階では、詳細な施工計画は決まっておらず、具体的な施工方法までの検討には至っていません。 [10/29 審査会]	説明済 [10/29 審査会]
	11	起点（西谷側）から鶴ヶ峰駅区間は距離が短いですが、シールドで掘削することは決定していますか。 [10/29 審査会]	掘削する距離は短いですがシールド工法を計画しています。 [10/29 審査会]	説明済 [10/29 審査会]
	12	どのくらい工期が遅れる可能性があるのか教えてください。 [10/29 審査会]	他事例の実績に基づくシールドの日掘進量から工期を設定しています。ただし、排出残土の種類によっては工期が遅れる可能性があります。 [10/29 審査会]	説明済 [10/29 審査会]
	13	既存資料が不足する場合には、ボーリング調査を行う余地があるのか教えてください。 [10/29 審査会]	基本的には既存調査を利用しますが、実際には設計の手続で既に数本のボーリング調査を行っています。 [10/29 審査会]	説明済 [10/29 審査会]
	14	鶴ヶ峰駅付近での開削や地表面に近く浅い場所のシールドでの掘削について、沈下や傾斜は調査項目として検討していますか。 [10/29 審査会]	施工の段階で管理値を設定し、計測した変位量との比較を行います。 [10/29 審査会]	説明済 [10/29 審査会]
	15	箱型トンネルとしている区間で実際には開削をしない区間がある場合は、シールドに切り替わるのでしょうか。それとも、都市 NATM とするのでしょうか。 [11/26 審査会]	都市 NATM は考えていません。開削工法で駅を構築した後、両側はシールドトンネルとし、シールドを再発進する考えとしていますが、今後、詳細な施工計画を立てます。 [11/26 審査会]	説明済 [11/26 審査会]
	16	箱型トンネル区間（鶴ヶ峰駅部）について、どのくらいの範囲で開削をするのか現段階で考えている開削範囲を教えてください。 [11/26 審査会]	事業説明会で使用した資料を用いて次回説明をします。 [11/26 審査会]	補足資料 7 で説明済 [12/24 審査会]

■事業計画について

項目	No	指摘、質問事項等	事業者の説明等	取扱い
事業計画	17	<u>箱型トンネルの区間にある緑地は、開削をするのでしょうか。また、河川の流れを変えて掘削するのでしょうか。</u> [12/24 審査会]	<u>開削を考えています。具体的な施工計画は立っていませんが、対策をした上で開削をし、最後は元に戻す計画を立てていきます。</u> [12/24審査会]	説明済 [12/24 審査会]
	18	<u>特別緑地保全地区を直接的には改変しませんが、その直下はシールドで掘削することになるのではないのでしょうか。</u> [12/24 審査会]	<u>シールドで掘削することになりますが、親水緑道としての機能、回遊や、自然を観察することが損なわれないように、必ず代替ルート等を設定して、工事をします。</u> [12/24審査会]	説明済 [12/24 審査会]
	19	<u>近くの河川に繋がっている緑地の部分は、地上から掘削をして、構造物を作っていくことになりましたが、何か注意すべき点がありますか。</u> [12/24 審査会]	<u>工事中に水を絶やさない工法で開削を行うことに留意し、今後、施工計画を立てます。</u> [12/24審査会]	説明済 [12/24 審査会]
	20	<u>水の流れは図の左から右に流れるのでしょうか。</u> [12/24 審査会]	<u>図の左から右に向かって流れています。</u> [12/24審査会]	説明済 [12/24 審査会]
	21	<u>開削する区間を西側にずらすことで、帷子川親水緑道を改変しない可能性はありますか。</u> [12/24 審査会]	<u>西側に開削区間をずらすと、まちづくりに影響があります。また、更に民地に権利制限をかける線形になるため、この形がベストと考え計画を立てています。</u> [12/24審査会]	説明済 [12/24 審査会]

■環境影響評価項目について

項目	No	指摘、質問事項等	事業者の説明等	取扱い
温室効果ガス	22	供用時の温室効果ガスを非選定としている理由を教えてください。 [10/29 審査会]	供用時に現状からエネルギー消費量が大幅に変化することは考えにくいことから非選定としています。 加えて、鉄道を地下化することで交通渋滞が緩和され、相対的に温室効果ガスの排出が減ることが期待されることから非選定としています。 [10/29 審査会]	説明済 [10/29 審査会]
	23	駅舎について何か配慮する考えはありますか。 [10/29 審査会]	現時点では設計している段階となりますので回答できません。 [10/29 審査会]	説明済 [10/29 審査会]
	24	鉄道を地下化することで交通渋滞が緩和され、相対的に温室効果ガスの排出が減ることが期待されることを図書に記載できませんか。 [10/29 審査会]	交通渋滞が緩和されることによる効果が定量的であれば準備書に記載します。 [10/29 審査会]	説明済 [10/29 審査会]
	25	エネルギー消費量がどのくらいになるのかを示した上で、原単位だけではなく温室効果ガスの排出総量を把握する理解でよろしいですか。 [10/29 審査会]	エネルギー消費量を想定した上で、工事によりどのくらいの排出量となるのかを総量で示す予定です。 [10/29 審査会]	説明済 [10/29 審査会]
生物多様性	26	親水緑道の一部改変について、工事中も水を絶やさないようにしてください。 [10/29 審査会]	施工計画の中で水生植物等に影響を与えないような工法を検討します。 [10/29 審査会]	説明済 [10/29 審査会]
	27	調査手法について具体的に言及されているのは、コドラート法だけではないでしょうか。他の調査手法については、どのような基準があり、どのように評価していくのかの記載がなくわかりにくいです。 [10/29 審査会]	準備書作成段階でわかりやすい図書となるように整理します。 [10/29 審査会]	説明済 [10/29 審査会]
	28	調査方法に加えて調査の時期や頻度を記載してください。 [10/29 審査会]	準備書の段階で調査した日付を含めて記載して対応します。 [10/29 審査会]	説明実施 [10/29 審査会]
	29	準備書での記載になりますと調査後となり、調査が足りないとなってしまった場合は手戻りになります。そのため、方法書段階で検討していただきたいと思います。 [10/29 審査会]	「1日/季」を基本とした季節別の調査にて年間を通じて複数回の確認を行います。 また、判明していない重要種の生息・生育に係る有力な情報を得られた場合は、必要に応じて確認調査を行うなど適切に対応します。 [11/26 審査会]	補足資料2で説明済 [11/26 審査会]

■環境影響評価項目について

項目	No	指摘、質問事項等	事業者の説明等	取扱い
生物多様性	30	調査手法について、生物の種類に応じた適切な調査期間を設定する必要がありますと考えます。 [11/26 審査会]	生物ごとに調査時期を変えて調査をします。 [11/26 審査会]	説明済 [11/26 審査会]
	31	鳥類については、文献調査を補完することができる調査をして欲しいです。 [11/26 審査会]	調査の実施方法等を藤井委員と確認をし、改めて回答します。 [11/26 審査会]	補足資料5で説明済 [12/24 審査会]
	32	具体的な調査の実施方法等を藤井委員に確認しながら進めてください。 [11/26 審査会]		
	33	狭い範囲を調べて評価をするのは危険なので、親水緑道が旭区の中でどのような位置づけであるのかを猛禽類の情報とも照らし合わせて整理してください。 また、緑道を歩いても鳥は見えないので、河川の中を歩いて調べてください。 [10/29 審査会]	帷子川親水緑道は旭区マスタープランに位置づけられており、魅力的な公園整備、施設の緑化により、まちなかの旧河川で緑を体験する場と解釈しています。 また、帷子川親水緑道で猛禽類が繁殖しているか公園管理者にヒアリングをしたところ繁殖情報はありませんでした。さらに、県へオオタカの生息情報についてヒアリングをしたところ帷子川親水緑道並びにその周辺地域において、オオタカへの影響は無いとの説明でした。 [11/26 審査会]	補足資料1で説明済 [11/26 審査会]
	34	単に周りに緑地があるという整理ではなく、水と緑のネットワークを形成する地域全体の中で、帷子川親水緑道がどのような位置づけであるのか、改変した場合に代替地が存在するのかを整理していただきたいです。 [11/26 審査会]	藤井委員と確認をし、改めて回答します。 [11/26 審査会]	補足資料6で説明済 [12/24 審査会]
	35	県へヒアリングの結果オオタカへの影響は無いとありますが、どのような意味ですか。 [11/26 審査会]	県から「神奈川県オオタカ保護指導指針」に基づき説明を受けました。営巣状況は秘匿情報であるためこのような記載になります。 [11/26 審査会]	説明済 [11/26 審査会]
	36	平成4年の「神奈川県鳥獣生息分布調査報告書」を使用していますが、最新の報告書があるのではないのでしょうか。 [11/26 審査会]	平成4年の「神奈川県鳥獣生息分布調査報告書」が最新です。 [11/26 審査会]	説明済 [11/26 審査会]

■環境影響評価項目について

項目	No	指摘、質問事項等	事業者の説明等	取扱い
生物多様性	37	猛禽類が鳥を食べて羽が散らばった跡などを見かけたらメモをする配慮をしていただきたいと思います。 [11/26 審査会]	猛禽類が鳥を食べた跡についても調査します。 [11/26 審査会]	説明済 [11/26 審査会]
	38	地下水位を下げることにより周囲の生態系に影響が及ぶ可能性があります。 [11/26 審査会]	地下水位を下げることによる影響は、施工計画を立てた次の段階で検討します。 [11/26 審査会]	説明済 [11/26 審査会]
	39	<u>親水緑道の一部改変について、魚類や底生生物などの水生生物に配慮した工法を検討してください。</u> [12/24 審査会]	<u>今後、水生生物について調査をし、影響が出ないような施工計画を立てます。</u> [12/24 審査会]	説明済 [12/24 審査会]
	40	<u>親水緑道の改変に近い場所の植生をモニタリングするなど、植生調査も検討してください。</u> [12/24 審査会]		
水循環	41	赤丸で示した全ての調査地点で観測井を設置し地下水位を調査するのですか。 [10/29 審査会]	本事業の専用の井戸として、赤丸で示した全ての調査地点で観測井を設置し調査します。 [10/29 審査会]	説明済 [10/29 審査会]
	42	新たに観測井を設置するのですか。 [10/29 審査会]		
大気質	43	開削工事を行う場所での大気質の測定箇所は、騒音の調査地点と同じですか。 [10/29 審査会]	鶴ヶ峰駅部と鉄道が地下に入る両側の起点、終点部の3箇所が開削工法の対象箇所となります。なお、大気質の予測は方法書の図に示した範囲で行う予定です。 [10/29 審査会]	説明済 [10/29 審査会]
	44	予測区間図に一般局を示してください。 [10/29 審査会]	一般局を記載します。 [10/29 審査会]	説明済 [10/29 審査会]
水質・底質	45	工事排水が要因となり帷子川の底質が変わる等の影響は考慮しないのですか。 [10/29 審査会]	工事等で発生した排水は、汚濁処理施設の設置や pH 処理を行い排水基準を満たした上で河川に流します。今後、施工計画で明らかにしていきます。 [10/29 審査会]	説明済 [10/29 審査会]
	46	工事中に使用した水を直接河川に排水するのでしょうか。 [10/29 審査会]		
騒音、振動	47	騒音と振動で測定地点数が異なる理由を教えてください。 [10/29 審査会]	鉄道が地下を走行する区間では、騒音の測定地点を減らしても問題ありませんが、振動は発生します。そのため、振動の測定地点を密に配置しています。 [10/29 審査会]	説明済 [10/29 審査会]

■環境影響評価項目について

項目	No	指摘、質問事項等	事業者の説明等	取扱い
安全	48	供用時の土地の安全性について、安全性に関する情報の記載がない中で、地域の方々から事業に対する理解を得ることは難しいのではないのでしょうか。どのように配慮していくのか検討状況を教えてください。 [10/29 審査会]	トンネル工事については十分に安全に配慮していきます。 施工計画を含め安全性については、工事説明会を工事の施工前に開催します。 [10/29 審査会]	説明実施 [10/29 審査会]
	49	【審査会後に委員へ確認】 地下式に絞られる過程での安全性に関する評価結果の説明や、現時点で施工計画において配慮すべき安全対策に関する説明が不明瞭であり（具体的な情報が無く）、事業者様より十分に客観的な説明を頂いたとの認識には至れませんでした。 [11/13 委員確認]	急傾斜地の状況を監視しながら工事を行い、変化の兆候が確認された場合には、状況に応じて必要な防護策を講じるなど、安全性に十分留意した施工計画を検討していきます。 なお、設計や関係機関協議の進捗状況にもよりますが、地域の皆様への情報提供をしていきます。 [11/26 審査会]	補足資料3で説明済 [11/26 審査会]
	50	帷子川親水緑道を一部改変しますが、斜面地の安全面についての情報提供をどのように考えていますか。 [11/26 審査会]	帷子川親水緑道に土砂災害警戒区域が存在することは県が周知をしています。なお、土砂災害警戒区域を改変する場合には、工事説明会で説明します。 また、「安全対策を行なう」旨を準備書に記載します。 [11/26 審査会]	説明済 [11/26 審査会]
	51	供用時における内水氾濫時は公共下水道へ排水ができなくなるのではないですか。 [10/29 審査会]	工事中の排水について、大雨洪水警報等が発表された場合は、工事を中止することを考えています。なお、大雨洪水警報等の恐れがある場合は、基本的に排水を行わない計画とします。 [10/29 審査会]	説明実施 [10/29 審査会]
	52	【審査会後に委員へ確認】 工事中に関する回答が中心であり、リスクの評価のないまま対処のみが述べられていること、内水氾濫リスクへの対応が「警報時に排水を行わない」だけでは十分とはいえないことから、工事中・供用時について「浸水」の項目選定をすべきではないかとの考えは拭えておりません。 [11/13 委員確認]	本事業は鉄道を地下化する事業であり、工事中及び供用時において、周辺地域に対する新たな浸水リスクはないと考えています。 鉄道施設に対する浸水リスクは、鉄道の安全輸送のための配慮事項と認識しており、今後の設計の中で具体的な浸水防止対策を検討します。 [11/26 審査会]	補足資料4で説明済 [11/26 審査会]

■環境影響評価項目について

項目	No	指摘、質問事項等	事業者の説明等	取扱い
安全	53	鉄道施設の浸水リスクについて、想定を超える雨量となった場合に予測される浸水量や、浸水対策によりどの程度浸水を緩和できるのかを評価項目として選定できませんか。 [11/26 審査会]	「鉄道に関する技術上の基準を定める省令」に基づく浸水防止対策がどれくらいの降雨強度まで耐えられるかを調べ、内水ハザードマップの想定降雨強度との比較結果を準備書に記載します。 [11/26審査会]	説明済 [11/26 審査会]
	54	トンネル内に湧出してくる水を調整空間を造らず、直接、公共下水道に排水すると排水負荷を高めるのではないですか。 [11/26 審査会]	公共下水道に接続することから、内水氾濫のリスクなども勘案して、流域で排水負荷が低いところに流すよう下水道管理者と協議調整を行ってまいります。 [11/26審査会]	説明済 [11/26 審査会]
	55	洪水及び内水ハザードマップの想定時間雨量はどのくらいですか。 [10/29 審査会]	洪水ハザードマップは1時間あたり93mmの雨量を想定し、内水ハザードマップは1時間あたり76.5mmの雨量を想定しています。 [10/29審査会]	説明済 [10/29 審査会]
	56	最近では時間雨量が100mmを超える事例もあります。浸水対策として止水パネルの設置で十分なのか。 [10/29 審査会]	洪水ハザードマップでは対象事業実施区域に浸水想定区域はありません。一方、内水ハザードマップの浸水区域では事業実施区域に浸水想定区域がありますので「鉄道に関する技術基準」にて定められている「浸水に対する基準」に準じてまずは、対策を実施します。この基準に加えて対策を行えるか相模鉄道との協議となります。今後、事業計画の中で記載できるか相模鉄道と調整をしていきます。 [10/29審査会]	説明済 [10/29 審査会]
	57	台風等の影響で河川が増水し、水害が発生した場合の対策はありますか。 [10/29 審査会]		

■環境影響評価項目について

項目	No	指摘、質問事項等	事業者の説明等	取扱い
地域社会	58	鶴ヶ峰駅付近の渋滞している道路の調査は行わないのですか。 [10/29 審査会]	御指摘の渋滞している道路は水道道です。現段階では、詳細な施工計画が決まっていますが、水道道の使用を含め、今後検討していきます。 [10/29審査会]	説明済 [10/29 審査会]
	59	供用後に鶴ヶ峰駅周辺が利用しやすくなり、駅まで送迎する車両が増えて周辺の道路が混雑する影響は考慮しないのですか。 [10/29 審査会]	本事業は鉄道を地下化するところまでを事業としています。周辺のまちづくりについては、旭区のまちづくりプランが作成されており、別事業になります。 [10/29審査会]	説明済 [10/29 審査会]
	60	委員の皆さんが心配されていることは、都市計画が総合的に動くことで上部も含めてどのようなものができるのかではないのでしょうか。評価項目に挙げられない事項についても、附帯意見をつけるなどの対応があっても良いのではと考えます。 [10/29 審査会]	—	—
	61	周辺のまちづくりとの関連についてもビジョンを示していただきたいということを最終的に答申に記載する流れになるかと思います。 [10/29 審査会]		
	62	供用後、周辺道路からの流入による交通量の増加について、本事業の評価対象にはならないのですか。 [11/26 審査会]	本事業は鉄道の都市計画事業であり、都市計画道路は別事業と考えています。 [11/26審査会]	説明済 [11/26 審査会]
	63	別事業の方で評価された情報を審査会の場で共有していただくことは可能ですか。 [11/26 審査会]	都市計画道路は鉄道が地下化された後に事業化されるため、別事業の方で評価された情報を審査会の場で共有することはできません。 [11/26審査会]	